

## 私たちの住まい

## ～健康・快適・安全な家族の間取り～

- 日時 令和4年2月10日（木）14:00～14:50
- 学年・学級 1年1組（男子12名 女子18名 計31名）  
つばさ学級交流1年（男子1名 女子1名 計2名）
- 場所 1年1組教室
- 題材について

## （1）題材観

本題材は、中学校学習指導要領（平成29年告示）第2章 第8節 2内容 B衣食住の生活 の住生活に関する分野である。本題材では、次のような資質・能力を育成することと示されている。

## （6）住居の機能と安全な住まい方

ア 次のような知識を身に付けること。

（ア） 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解すること。

（イ） 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解すること。

イ 家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫すること。

また、中学校学習指導要領 第2章 第8節 3内容の取扱いでは次のように示されている。

ク （6）のアについては、簡単な図などによる住空間の構想を扱うこと。また、ア及びイについては、内容の「A家族・家庭生活」の（2）「幼児の生活と家族」及び（3）「家族・家庭や地域との関わり」との関連を図ること。さらに、アの（イ）及びイについては、自然災害に備えた住空間の整え方についても扱うこと。

中学校学習指導要領解説 技術・家庭編では、この題材の学習について、「課題をもって、健康・快適・安全で豊かな住生活に向けて考え、工夫する活動を通して、家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能、家族の安全を考えた住空間の整え方に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、住生活の課題を解決する力を養い、住生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を育成することをねらいとしている。」とあり、住生活について、生徒の実生活との関連を図った課題設定や課題解決の過程を通して、住空間の整え方に関する基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、習得した知識・技能を活用して、将来の住生活を工夫して、創造しようとするなどの生きて働く知識・技能を育成する授業構成をしていくことが重要であると考え。

また小学校の家庭科「B（6）快適な住まい方」で、住居の基本的な機能については雨や風、暑さ、寒さなどの過酷な自然から人々を守る生活の器としてのはたらきがあることなどを既に学習しているため、中学校では、幼児や高齢者の家庭内事故を防ぎ、自然災害に備えることについても取扱い、安全な住まい方の学習の充実を図るなど、小学校と中学校の内容の関連を図ることが必要である。

ただし、住まいは生徒の物心が付く前から存在していることが多く、工夫の余地を感じさせにくい教材である。住生活を工夫するためには金銭的な負担も大きく、家庭全体を巻き込むものであるため、中学生だけでできる工夫には限界がある。また、家庭環境の多様化により、住まいの在り方も多様化しており、配慮が必要である。今の中学校生活を送る自分だけでなく、将来の自分の生活をも自分事として捉え、自立して住生活を工夫することを意識させることが重要である。

## (2) 生徒観（調査結果等から見る課題）

本題材の学習を始める前の1年生91人を対象に、住まいに関するアンケートを実施した。アンケートから見えてきた課題は次のとおりである。

- ① 「理想の住まいとはどんな住まいか」という項目について、「広い庭がある家」「部屋がたくさんある家」「火事にならない家」「換気がしっかりできる家」などの回答があった。目の前の生活経験や娯楽・願望が反映されていると考えられる。「健康・快適・安全に暮らすためには、どのような住まいの工夫をすれば良いか」という項目について「分からない」が25%と多かったが、「部屋を換気する」「家を掃除する」「雨風や台風をしよげる強い家にする」などの回答も次に多かった。住まいの工夫をする上で役立ちそうな既習事項については、「温度により服を変える」「換気」「掃除」「日差しを遮る」などの回答があった。
- ② 自分の意見を大勢の前で表現することは好きか、得意かという項目について、「あまり好きではない」「苦手だ」と回答した生徒の割合は80%であり、肯定的にとらえていない生徒が多いことが分かった。一方で、班活動に対しては「自分の意見をしっかり聞いてもらうことができる」と回答した生徒の割合も80%と高い。
- ③ 核家族化やひとり親家庭の増加など家庭環境が多様化しているため、住まいの在り方も多様化している。今の生活の課題は中学生の力だけでは解決することが難しい面もある。

## (3) 指導観（指導改善のポイント）

このような実態を踏まえ、次のように指導の工夫を行う。

- ① 題材の最初と最後に「理想の住まいとは…?」と同じ問いを投げかけて、考えの広がりや深まりを自覚させる。家具の配置など身近な実生活と関連付けさせたり、幼児や高齢者との同居を条件として設定したりすることで、将来想定される住生活に生かせるよう学習活動を工夫していく。
- ② 間取り図製作について、成果と課題をまとめたり、根拠や理由を明確にして発表したりする場面を作る。また、他者の意見を聞き、評価・改善できるよう、中間報告をクラスで行わせる。
- ③ 特別支援教育の視点から、操作活動を簡潔にしたり、可視化の工夫をしたりすることで配慮を要する生徒の支援を行う。間取り図を構想する際は平面計画マスターシートを使い、台紙にシートを貼るようさせることで、製図が苦手な人や時間がかかる人も、間取りのデザインに集中することができるようにする。短い文章で説明するよう意識する。

Sくんについては、選択肢を与えられなくても、思ったことを表現することができるように、適切な語句を選択したり、活用したりする力を身につけさせる。交流学級で自分の考えが話せたという成功体験に繋がるようにする。Mさんについては、大きな声や音のある環境にならないように、配慮する。

## 題材の目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ② 家庭内の事故の防ぎ、自然災害に備えるなど、家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

## 題材の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本校が定めた 資質・能力	コミュニケーション力		主体性
評価規準	<p><b>知</b>住居の基本的な機能について理解している。</p> <p><b>知</b>室内の空気調節、音と生活との関わりについて、安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する具体的な方法について理解している。</p> <p><b>知</b>家庭内事故の防止について、安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する具体的な方法について理解している。</p> <p><b>知</b>自然災害への備えについて、安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する具体的な方法について理解している。</p>	<p><b>思</b>室内環境について問題を見つけ、課題を設定している。</p> <p><b>思</b>室内環境の課題について、実習や調査・観察などを通して、安全で快適な整え方や住まい方について考え、工夫している。</p> <p><b>判</b>住生活を豊かにするための製作品を考え、自分なりに工夫している。</p> <p><b>表</b>実習の実践の成果と課題についてまとめたり、根拠や理由を明確にして発表したりしている。</p> <p><b>思</b>他者の意見を聞き、計画・実践等について評価・改善している。</p>	<p><b>主</b>自分や家族の住空間と生活行為との関わりについて主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p><b>主</b>安全で快適な室内環境について、整え方や住まい方の課題に主体的に取り組もうとしている。</p> <p><b>主</b>自分や家族の住生活をよりよくすることについて、課題を主体的に捉え、製作や調査などの計画と実践に取り組もうとしている。</p> <p><b>主</b>題材を通した自分の思考の広がり・深まりを自覚し、自分の生活に活かそうとしている。</p>

## 指導と評価の計画

次	学習内容	評 価	
		観 点	評価規準（評価方法）
1	<p>○自分の住まいで困った経験を挙げる。理想の住まいについて考え、似たものをまとめることで、題材全体を貫く課題を発見する。「健康・快適・安全に暮らすためには、どのような住まいの工夫をすれば良いだろう」</p> <p>○もしも住まいがなかったらどうなるか想像し、住まいに必要な空間とその役割について理解する。</p> <p>○日本各地や世界各地の特徴的な住まいの外観や気候風土、家の仕事を挙げていくことを通して、住まいの基本的なはたらきを理解する。</p> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">課題の設定</span>    <span style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">情報の収集</span></p>	思	室内環境について問題を見つけ、課題を設定している。（ワークシート）
2	<p>○家族の生活行為と住まいの空間とのかかわりについて理解する。</p> <p>○子ども部屋のづくり方に関する記事を読んだり、家の間取り図から疑似家族の住人をどこに配置するか考えてロールプレイをしたり、数年後に家族が増えたことを想定して配置換えをしたりする活動を通して、同じ間取りでも家族構成や年齢、ライフスタイルによって住まい方が違うことを理解する。</p> <p style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">情報の収集</span></p>	知	住居の基本的な機能について理解している。（ワークシート・期末テスト）
		主	自分や家族の住空間と生活行為との関わりについて主体的に学習に取り組んでいる。（ワークシート）
		理	住居の基本的な機能について理解している。（ワークシート）

3	<p>○空気の汚れで困った経験を挙げる活動を通して、室内の空気が汚れる原因を知り、健康に配慮した住まい方を考える。</p> <p>○騒音や心地よい音について挙げる活動を通して、生活騒音の種類と問題点を理解し、適切な防音対策を工夫することができる。</p> <p><b>情報の収集</b></p>	知	<p>室内の空気調節、音と生活との関わりについて、安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する具体的な方法について理解している。(ワークシート、期末テスト)</p>
4	<p>○幼児や高齢者の身体的特徴から安全対策を考える。</p> <p>○危険な家の鳥瞰図と安全な家の鳥瞰図を比較する活動を通して、家庭内の事故の種類とその原因、防ぎ方や日頃の備えなどの視点から室内環境の整え方、安全管理の方法を考える。</p> <p><b>情報の収集</b></p>	知 主	<p>家庭内事故の防止について、安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する具体的な方法について理解している。(ワークシート・期末テスト)</p> <p>安全で快適な室内環境について、整え方や住まい方の課題に主体的に取り組もうとしている。(ワークシート)</p>
5	<p>○地震や豪雨などの自然災害における住空間の危険な点を見つける活動を通して、安全な住まい方を考えたり、非常時の備えとして必要なものを挙げたり、原因をもとに安全管理の対策の仕方を考えたりする。</p> <p>○災害時の意志決定のシミュレーションをする活動を通して、災害時の住まいと暮らしについて、地域とつながる視点から安全で快適な住まい方について考える。</p> <p><b>情報の収集</b></p>	知 思	<p>自然災害への備えについて、安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する具体的な方法について理解している。(ワークシート・期末テスト)</p> <p>室内環境の課題について、実習や調査・観察・実験などを通して、安全で快適な整え方や住まい方について考え、工夫している。(ワークシート・期末テスト)</p>
6	<p>○今までの学習を踏まえて、「健康・快適・安全な住まい」とは具体的にどんな住まいなのか考え、平面マスターシールで「未来の自分の家族の住まいの間取りと家具配置」を作る。</p> <p>○ワンルームやグループホームやシェアハウスや一軒家、平屋と二階建て、和室と洋室など、多様な住まいを挙げていくことを通して、自分の生活の選択肢を広げる。</p> <p>○「自分の家で」健康・快適・安全に住むためには、どのような工夫をすることができるか、考える。</p> <p><b>整理・分析</b>      <b>まとめ・創造・表現</b></p>	思 判	<p>室内環境の課題について、実習や調査・観察・実験などを通して、安全で快適な整え方や住まい方について考え、工夫している。(ワークシート)</p> <p>住生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について自分なりに工夫している。(ワークシート)</p>
7 【本時】	<p>○平面マスターシールを見て、健康・快適・安全に暮らすための工夫を振り返り、まとめる。</p> <p>○互いの発表と意見交流を踏まえて、理想の住まいとはどんな住まいか、考える。</p> <p>○「自分の家で」健康・快適・安全に住むためには、どのような工夫をすることができるか、考える。</p> <p><b>まとめ・創造・表現</b>      <b>振り返り</b></p> <p>今までは、部屋がたくさんある家が理想の住まいだと思っていたけど、それだけではなくて、家族みんなが安全に、健康に暮らせるように工夫することが大事だと分かった。家のことは簡単には変えられないとあきらめていたけど、自分にもできそうなことが意外とあった。</p> <p>現在の自分の家は、引っ越したばかりなのでまだ家具を固定できていない。百均にも固定具があると聞いたので、探してみたい。自分の部屋の棚にある重い物も、できるだけ下の方に置いて、重心を下げたいと思った。妹が誤飲しないように、物を置く場所には気をつけたいと思った。</p>	表 思 主	<p>住まいの工夫の間取り図の製図にまとめたり、根拠や理由を明確にして発表したりしている。(ワークシート・マスターシール・発表)</p> <p>他者の意見を聞き、計画・実践等について評価・改善している。(ワークシート・マスターシール・交流)</p> <p>題材を通じた自分の思考の広がり・深まりを自覚し、自分の生活に活かそうとしている。(ワークシート)</p>

## 本時の学習

(1) 本時の目標

題材を通した自分の思考の広がり・深まりを自覚し、これからの自分の住まいの整え方や住まい方の課題に主体的に取り組もうとしている。(主体性)

(2) 観点別評価規準

C	B	A
○題材を通した自分の思考の広がり・深まりを表現しようとしている。	○題材を通した自分の思考の広がり・深まりを自覚し、表現しようとしている。 ○これからの自分の住まい方を改善しようとしている。	○題材のはじめと終わりの自分の考えを比較することを通して、自分の思考の広がり・深まりを自覚し、具体的に表現している。 ○これからの自分の住まい方を具体的に改善しようとしている。

(3) 準備物    ワークシート、マスターシール、学びの足跡シート、教科書、ノート、クロームブック、テレビ

(4) 学習の展開

	学習活動	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて	評価規準 (評価方法)
導入 【 <b>発見</b> 】	① 題材を貫く課題と、それを解決するために行ってきたことを確認する。	◇ 学びの足跡シートを返却し、題材の既習事項を振り返り可視化する。	
	健康・快適・安全に暮らすためには、どのような住まいの工夫をすれば良いのだろう。		
	② めあての提示		
	<b>本時のめあて</b> <b>自分の住まいで健康・快適・安全に暮らすための工夫を見直そう。</b>		
展開 ① 【 <b>思考</b> 】	③ 発表方法を理解する。	◇ 発表の項目と順番を可視化する。特に工夫したこと、高齢者が暮らしやすくなるように工夫したことの2つの視点に注目させる。	
	④ 発表練習を行う。	◇ 教師が発表のモデリングを行う。 ◇ 向島スタンダードを意識させる。 ◆ 発表が難しい生徒には、マスターシートを提示させ、班のメンバーが質問をしたり良いところを伝えたりするようにさせる。 ◇ 自分では思いつかなかったこと、取り入れたいことを青ペンでワークシートに記入する。	
	⑤ 班で発表を行う。		
	⑥ 発表に対して、感想や質問を言い合う。 【共感的人間関係】		

<p>展開② 【深化】</p>	<p>⑦ 他者の意見を聞き、計画・実践等について評価・改善する。</p>	<p>◇ 班の人の発表をきいて感じたことをもとに、間取り図やワークシートを修正する時間をとる。</p>	
<p>終末【まとめ・振り返り】</p>	<p>⑧ 理想の住まいとはどのような住まいか、グーグルフォームで回答し、クラスで共有する。</p> <p>⑨ 題材の学習を振り返り、予想から考えが広まったり深まったりしたことをワークシートに書く。</p> <p>⑩ 「自分の家で」健康・快適・安全に住まうためには、どのような工夫をすることができるか、考える。</p> <p>⑪ 現在の住まいを手直ししたり、将来住まいを選んだりするときに、活かしていこうと思ったこと、これから学びたいことをワークシートに書く。</p>	<p>◇ 学びの足跡シートを見て、今までの学びを振り返り、網羅できるようにする。</p> <p>◇ 題材の始めに自分が書いた内容と、題材の最後に自分が書いた内容を比較させる。</p> <p>◇ 書き方の型を示す。「はじめは～と思っていたけど、学習を通して～だというように考えが広がりました。」</p> <p>◆ 振り返りを書くことが難しい生徒には、どこを見て書くと良いか示す。</p> <p>◆ 振り返りを読むことが難しい生徒には、口頭で聞く。</p>	<p>題材を通した自分の思考の広がり・深まりを自覚し、表現している。(ワークシート)</p> <p>安全で快適な室内環境について、整え方や住まい方の課題に主体的に取り組もうとしている。(ワークシート)</p>
<p>○生徒の振り返り例</p> <p>今までは、部屋がたくさんある家が理想の住まいだと思っていたけど、それだけではなくて、家族みんなが安全に、健康に暮らせるように工夫することが大事だと分かった。家のことは簡単には変えられないとあきらめていたけど、自分にもできそうなことが意外とあった。</p> <p>現在の自分の家は、引っ越したばかりなのでまだ家具を固定できていない。百均にも固定具があると聞いたので、探してみたい。自分の部屋の棚にある重い物も、できるだけ下の方に置いて、重心を下げたいと思った。妹が誤飲しないように、物を置く場所には気をつけたいと思った。</p>		<p>◇ それさえあれば本当に理想の住まいと言えるのか、最後に揺さ振りをかけて終わる。</p>	

## 単元構想図

学年・単元名（題材名）

私たちの住まい～健康・快適・安全な家族の間取り～

### ① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

生活を豊かに送ることのできる、理想の住まいとは？

### ② 単元を貫く問い（単元を通して考えを深めていく「問い」）

健康・快適・安全に暮らすためには、  
どのような住まいの工夫をすれば良いだろう。

### ③ 個別の問い（単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能）

（全1時間） 1次	○住まいの基本的な機能と、空間の役割について理解しよう。 ・必要な機能と空間を持ち合わせている住まいとは？
（全1時間） 2次	○家の間取りと家族のかかわりを見つめ直そう。 ・家族のライフスタイルや希望に添える住まいとは？
（全1時間） 3次	○音・空気・光・エネルギーなどの環境を、 健康で快適に整えるために工夫しよう ・快適な環境の理想の住まいとは？
（全2時間） 4次	○家庭内事故の危険性について理解し、予防や対策を考え、 家族が安全に暮らせるように工夫しよう。 ・子育てしやすく高齢者も住みやすい理想の住まいとは？
（全2時間） 5次	○自分の住む地域での災害への備えについて考え、対策を工夫しよう。 ・災害に強い、理想の住まいとは？
（全2時間） 6次	○将来の理想の間取りを設計しよう。 ・これまで学んだことを活かした理想の住まいとは？
（全1時間） 7次	○健康・快適・安全に暮らすためには、 どのような住まいの工夫をすれば良いだろう。 ・自分の住まいを理想の住まいにするには？



**題材の目標** 【住居の機能と安全な住まい方】家族の生活と安全を考えた住空間の整え方について 考え、工夫すること。

**題材の問い** 健康・快適・安全に暮らすためには、どのような住まいの工夫をすれば良いだろう。

問いの解決のために役立ちそうな既習事項	題材の問いに対する答の予想

題材を通して付けたい力

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
③ 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。	家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
④ 家庭内の事故の防ぎ、自然災害に備えるなど、家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。		

わかったこと・大切な考え方など	自分の生活に活かしたいこと・もっと知りたいこと
-----------------	-------------------------

1次	住まいの基本的な機能と、空間の役割について理解しよう。
2次	家の間取りと家族のかかわりを見つめ直そう。
3次	音・空気・光・エネルギーなどの環境を、健康で快適に整えるために工夫しよう。
4次	家庭内事故の危険性について理解しよう。
4次	家庭内事故の予防や対策を考え、家族が安全に暮らせるように工夫しよう。





5次 災害シミュレーションを通して、災害の危険性について理解しよう。


6次 自分の住む地域での災害への備えについて考え、対策を工夫しよう。


7次 ① これまでの学習を生かして、題材を貫く問いの答を書きましょう。  
「健康・快適・安全に暮らすためには、どのような住まいの工夫をすれば良いだろう。」


② 題材の学習を振り返り、予想から考えが広まったり、深まったりしたことを書きましょう。


③ 現在の住まいを手直ししたり、将来住まいを立てたりするときに、活かしていこうと思ったこと、これから学びたいことなどを書きましょう。


年 組 番 名 前 ( )